

報道関係各位

平成26年6月
小金井市立はけの森美術館



2014 7.19(土) - 9.7(日)
【東京】中村研一記念
小金井市立はけの森美術館

左上から時計回り：顔 ブルーの中（1992）／青い服（1949）／星座からの返信（1983）／ヴィナス二人（1990）／自画像（1925）／真鍮網による椅子（1950）撮影：山本紉／オ シャレ ドウ ラ ビュット（1939頃）© The MIMOCA Foundation

展覧会概要

展覧会名：平成26年度市町村立美術館活性化事業 第15回共同巡回展

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品による 猪熊弦一郎展 どんなことをしても僕なんだ

会期：2014年7月19日(土) - 9月7日(日)

会場：中村研一記念 小金井市立はけの森美術館

〒184-0012 東京都小金井市中町1-11-3 TEL 042-384-9800

開館時間：10：00～17：00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日・7月22日(火)（7月21日(月・祝)は開館）

観覧料：一般600円 小中学生200円 ※未就学児および障害者手帳をお持ちの方は無料

主催：小金井市立はけの森美術館、第15回共同巡回展実行委員会

特別協力：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 公益財団法人ミモカ美術振興財団

協力：株式会社三越伊勢丹

助成：一般財団法人地域創造

*内覧会の開催：2014年7月18日(金) 15：00～17：00

※報道関係者及び招待者のみ。お越しの際は、ご一報頂けますと幸いです。

企画概要

猪熊弦一郎は、東京美術学校（現 東京藝術大学）で藤島武二のもとで学び、早くから帝展で入選を重ね、特選も2度受けました。1936年からは官展を離れ新制作派協会（現 新制作協会）設立に参加し、晩年まで発表の場とします。猪熊は1938年の渡仏、1955年の渡米、その後20年にわたるニューヨーク逗留など人生の様々な転機と共に作風を変えてゆきました。色・形・それらの画面上のバランスを突き詰めるうちにモダニズム志向の具象から大胆なデフォルメ、やがて純粋な抽象に転じ、1980年代後半からは再び具象的要素が現れます。猪熊の作品は、一人の画家によるとは思えないほど時期により大きく異なって見えますが、その根底には一貫して「絵として美しいこと」を描き出すための追求がありました。

本展では、猪熊の絵画を初期から晩年までの作風の変遷をたどるとともに、通常の画材以外の様々な材料も用いた自由な表現や、グラフィック・デザイン、挿絵、壁画、家具など絵画以外の仕事も取り上げ、技法やジャンルを越えた猪熊の「美しいこと」の表現へのたゆまぬ取り組みを紹介します。

作家略歴

[猪熊弦一郎（1902-1993）]

香川県高松市に生まれる。東京美術学校（現 東京藝術大学）西洋画科に進学し、藤島武二教室で学ぶ。帝展で2回特選になるなど早くから活躍し、1936年には小磯良平らと新制作派協会（現 新制作協会）を設立し発表の場を移す。1938年に渡仏した際にアンリ・マティスを訪ね、指導を受ける。1955年再びパリに向かうために立ち寄ったニューヨークに魅せられ、以後約20年間ニューヨークで制作活動を行う。絵画表現の追求の一方、上野駅の大壁画《自由》などの公共空間での造形、三越の包装紙「華ひらく」のデザインなど、多岐にわたる創作活動を展開した。

展覧会のみどころ

● 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品約70点を紹介！

絵画作品のみならず、公共空間における造形作品や包装紙のデザインなど猪熊弦一郎の創作活動は多岐にわたります。本展覧会では、以下の3つのテーマ構成により、多種多様な猪熊作品を紹介しています。

〈作風とモチーフの変換〉…油彩など21点

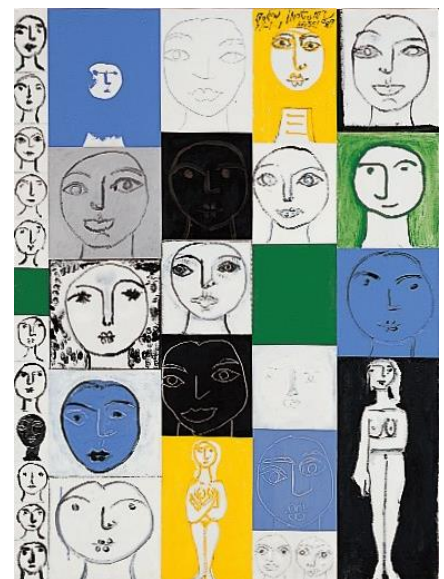
〈素材で広がる作品の姿〉

…水彩、素描、コラージュなど約30点

〈社会と関わる芸術〉

…壁画原画、装丁本、家具など約25点

（対話彫刻、愛用品、収集物含む）



顔 31 (1989) © The MIMOCA Foundation

● 展覧会限定カタログを発売！

本展会期中、展覧会カタログ（96 ページ・税込 1300 円）を販売します。銀箔押しを表紙が目をはくカタログデザインは、本展のチラシ・ポスターと同じく廣村正彰氏によるものです。全出品作品の図版だけでなく、担当学芸員によるエッセイ等も収録されています。



*猪熊グッズもやってくる！

本展会期中、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館オリジナルのミュージアムグッズを販売致します。全てのオリジナルグッズには、「人々の身近なところに美しく、楽しいものを」という猪熊の思いが込められているそうです。ポストカードや便箋などのグッズに加え、関連書籍も販売予定です。

関連イベント

1 読み聞かせイベント「いのくまさんのおはなし会」

猪熊に関連した絵本の読み聞かせと、猪熊作品のモチーフになったオリジナル絵本をつくります。

7月27日(日)13:30~15:00

講師：こごうちぶんこ ことりのへや

対象：5歳児～小学生（小学4年生以下は保護者同伴）

定員：30名（付添いの保護者含む）

参加費：無料（要事前申込）

2 トーク&ワーク「みて・つくってイノクマ体験！」

展示室で作品を鑑賞した後に、お菓子の包み紙や針金など身近な材料でできた不思議なオブジェ「対話彫刻」を自分でつくってみましょう。

8月2日(土)[1]10:30~12:00/[2]13:30~15:00

対象：[1]小学生（4年生以下は保護者同伴）

[2]中学生以上

講師：齊藤佳代（エドゥケーター）

定員：各回20名

参加費：100円（要観覧券・要事前申込）



対話彫刻 撮影：山本紉 © The MIMOCA Foundation

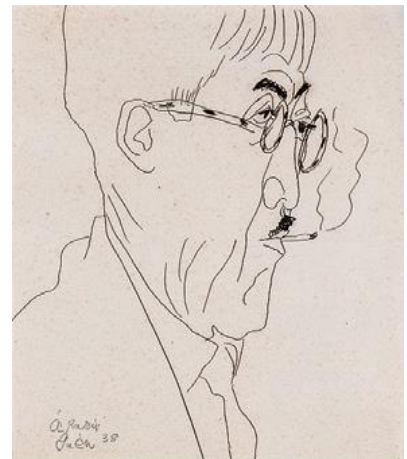
3 ギャラリートーク

展示作品所蔵館の学芸員が、展示室で作品を前にしてお話しします。

8月23日(土)13:30~14:30

講師：松村 円（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員）

参加費：無料（要観覧券・申込不要）



4 猪熊作品を模写！スケッチ曜日

8月の火曜日は、1階展示室で作品の模写ができます。

画材、画板、イーゼルを貸し出します。

8月5日・12日・19日・26日 10:00~（16:00まで随時受付）

定員：同時に5名まで

参加費：無料（要観覧券・申込不要）



上から 藤田嗣治像（1938）／
マドモアゼルM（1940）© The MIMOCA Foundation

○1、2の申込方法

希望するイベント名、お名前・年齢（学年）・電話番号・返信先
（Eメールアドレス・FAX番号・住所のいずれか）を明記のうえ、
下記までお申し込みください。

Eメール：s030999@koganei-shi.jp

FAX：042-381-5281

往復はがき：〒184-0012 小金井市中町 1-11-3

小金井市立はけの森美術館

申込締切（必着）：1=7月17日(木) / 2=7月23日(水)

※1通につき1イベント、3名までのお申込とさせていただきます。

巡回情報

2014年5月30日（金）-7月6日（日）：筆の里工房（広島）【開催中】

2014年9月13日（土）-10月26日（日）：大垣市サイトピアセンター アートギャラリー（岐阜）

お問い合わせ

- 本展をメディアでご紹介いただける際には、本状および展覧会チラシ掲載の作品画像（JPEG形式）をメール添付にて貸し出します。作品画像の複製使用にあたっては、次の項目を遵守してください。
 - ・作品のトリミング、文字のせ等、改変を禁じます。
 - ・作家名、作品名、制作年、所蔵（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館）、著作権表示（©公益財団法人ミモカ美術振興財団 または©The MIMOCA Foundation）、画像によっては撮影者名とその著作権表示を明記してください。
- 紹介メディアの読者プレゼント用に、本展招待券（3会場共通）を提供いたします。枚数はご相談ください。

中村研一記念



小金井市立

はけの森美術館

〒184-0012 東京都小金井市中町 1-11-3

TEL：042-384-9800

FAX：042-381-5281

E-mail：hakenomori-art@nifty.com